

スマート林業

・ICTを活用したスマート林業



航空レーザ計測



境界情報管理

デジタル情報やICTにより、資源管理や生産管理の効率化を目指す

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



最近耳にする「スマート〇〇」。林業でも様々な企業等と連携し、最新技術を導入する「スマート林業」により、労働力不足や作業の効率化等の課題を解決しようという取組が広がっています。これは、SDGsが謳う技術革新や働きがいの実現、そして協働による問題解決に繋がります。

北信州森林組合、信州大学、長野県、アジア航測株式会社の連携プロジェクトでは、所有者や境界データが入った森林GIS(※)を基に、航空レーザーやドローン等の情報通信技術（ICT）で得たデータを組み合わせ、伐採計画を作成しています。このように、スマート林業による「森林の見える化」を進め、作業の効率化に取り組んでいます。

※森林の基本情報をデジタル処理して一元管理するシステム